

甲斐市立玉幡小学校 令和2年度 学校便り 第17号



チーム玉幡

令和2年10月13日

学校長 丸茂和也

♪ あおげばまどに はくほうの…わたしたちの校歌 ♪

1. あおげば窓に 白鳳の 雪がかがやく 学びやよ
希望はるかに 肩くんで 真理の道を 進むのだ
われら玉幡小学生
2. あらしをこえて 父母が おこし伝えた ふるさとよ
八幡玉川 野は晴れて 文化をここに 築くのだ
われら玉幡小学生
3. 信玄堤の 花吹雪 ゆかりも遠い 釜無よ
歴史あらたな あすを呼ぶ 母校のほまれ 歌おうよ
われら玉幡小学生



これはわたしたちの玉幡小学校の校歌です。今までは全校みんなで集まるときには、何回も校歌を歌うことができましたが、今年はみんなで集まったり、歌ったりすることがむずかしいこともあって、残念ですが、まだ一度もみんなで校歌を歌ったことがありません。

前に玉幡小学校につとめていた先生が、こんな文と絵をのこしてくれました。



1番 ↑



2番 ⇨



3番 ↑

①一番のうたの中に、「白ほう」ということばが出てきますが、玉幡小学校の校庭に出ると、西の方にとってもっとも高いきれいな白い山が見えます。この山の中に日本で二番目に高い山である「北岳きただけ」があります。この山々のことを「白ほう」といいます。

こんなすてきなけしきに囲まれた玉幡小のみなさん、まっすぐ前を見てがんばってください、というのが一番の歌詞です。

②二番のうたの中に「やはたたまがわ」ということばが出てきますが、みんなが住んでいるこのあたりのことを言います。大むかしこのあたりは大こう水で、村の中がめちゃくちゃになったそうです。

三番のうたの中に出てくる信玄堤というい防ができてから、こう水もなくなり、それ

からは村の人たちは力を合わせて田や畑を作り、一生けんめいにがんばって今の緑の美しいふるさとである玉幡の町ができました、というのが二番の歌詞です。

③三番のうたの中に「かまなし」ということばが出てきますが、みんなが知っているとおり、この玉幡の町にそって流れているかまなし川のことです。大むかしはいくつもの川に分かれていたそうですが、500年前に信玄堤という「てい防」ができてから、今のようなかまなし川ができたそうです。春には桜の花がさいえてとってもきれいな場所です。

こんな歴史のあるすばらしいところに玉幡小があります。むねをはって、自信をもって歌ってください、というのが三番の歌詞です。

私は校歌を初めて聴いたとき、とてもすばらしい校歌だと思いました。明るく前進するような、胸がおどるようなメロディーで覚えやすく歌いやすく、歌詞もとても良くて、学校を取り巻く美しい環境や人々の努力、子供たちへの願いなど多くの心が込められていると感じました。全校のみなさんがこの校歌を生き生きと歌い、この歌詞のような気持ちをもって、心を感じて成長してほしいと思いました。

みんなで校歌を歌えるときはまだまだ先かもしれません。しかし校歌にあるような心をいつも感じながら、一日一日を大切にみんなで進んでいって、3月までにはぜひ玉幡小学校のみなさん全員でむねをはって、笑顔で生き生きと校歌を歌いたいと感じているところです。

♪「心」をはぐくむ～4年生福祉講話より～

10月9日（金）に4年生福祉講話が行われました。県聴覚障害者協会の二科さん、手話通訳者の深澤さん2名の講師をお迎えし、二科さんの生活のようすや手話などに触れて、たくさんの質問に答えていただきました。



福祉体験活動は、①体験する人・介助する人それぞれの気持ちを理解する②自分にできることを考える③行動する気持ちをもつというような「心」を学び、養うことができます。子供たちにとって豊かな心をはぐくむための貴重な体験となりました。

♪またまた お心をありがとうございます♪

6月の回旋式の蛇口に引き続いて、カネト工業さんより、手を近づけるだけで水が出る自動蛇口12基の寄贈と取り付け工事をしていただきました。

とても便利で、手洗いが更にしやすく感染症予防にも大変有効です。改めて子供たちを気にかけていただき、愛してくださることを有り難く思い、心を熱くしました。尊い物とお心をいただきました。大切に活用させていただきます。本当にありがとうございました。



♪健康に関するお願いです♪

5年生のご家庭に、「林間学校に向けての体調管理に関するお願い」を配布いたします。説明会でもお話しした通り、お子さんの細かな健康状態やご家族の健康の様子についてもお伺いするものです。何とぞよろしくお願ひいたします。

